

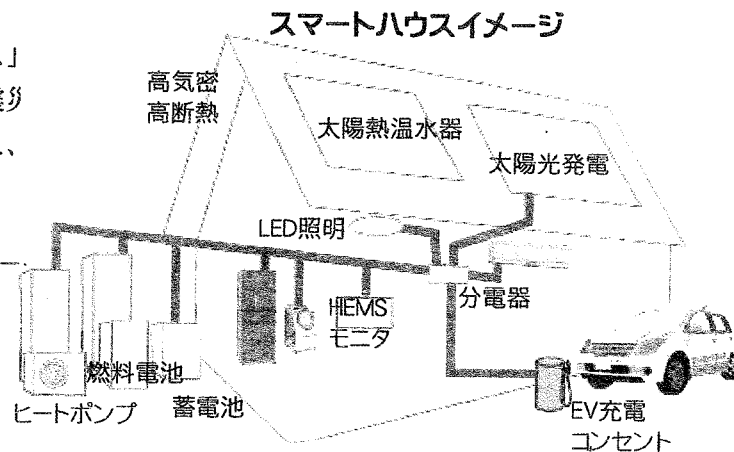
リレー記事 No.75

## エネルギーの地産地消スマートハウス

最近、住宅の商業で「スマートハウス」という言葉を聞くようになりました。東日本大震災以降、エネルギーについて身近に考える人が増え、家づくりのポイントも変わってきたそうです。

スマートハウスとは「ITを駆使して、これまでの生活を変えることなく無理せずエネルギーを賢く使う家」のこと。これを実現するために、住宅メーカーが、さまざまな技術を導入している。

具体的な方法としてはエネルギーの消費を抑える「省エネ」、各家庭でエネルギーをつくる「創エネ」、家庭にエネルギーを蓄えておく「蓄エネ」。さらにこれらのエネルギーを集中コントロールする「HEMS（ヘムス）」というシステムがある。



### ◆省エネ◆

気密性や断熱性といった住まいの性能を高めることで、エアコンの使用量を減らす方法。また、光や風を上手に取り込む、樹木などで直射熱を抑えるなど、自然の恵みを有効利用する「パッシブデザイン」によって、エアコンや照明などの使用を抑える。エコ家電の導入。

### ◆創エネ◆

「太陽光発電」をはじめ、天然ガスから取り出した酸素と水素から電気と熱をつくる「家庭用燃料電池」、地中熱を利用して冷暖房や給湯に利用する「地中熱ヒートポンプ冷暖房システム」など。

### ◆蓄エネ◆

非常時の予備電源に使える「家庭用蓄電池」。リチウムイオン蓄電池など、すでに商品化されたものもある。その一方で、太陽光発電から電気自動車への充電、電気自動車で家の電気をまかなうための実証実験も現在行われている。電気自動車やプラグインハイブリッド車が住宅と一体となったスマートハウスもある。

### ◆HEMS◆

ITを使って住まいのエネルギーを集中コントロールする機器。スマートハウスの重要な要素。各部屋の使用電力や1日ごとの電気代金を、HEMSで「見える化」し、エネルギーを効率的に使う機能がある。また、蓄電池の電力を電気料金が高い時間帯に使うよう自動切替できるものもある。

これからは、自分たちの暮らし方にエネルギー使用の視点も入れ、住宅を選ぶ時代になってきたのですね。限りある資源を使う責任を感じました。

【参考資料】[http://suumo.jp/tokushu/smart\\_house/chumon/](http://suumo.jp/tokushu/smart_house/chumon/)

《ひら》

## 食欲の秋! 鍋でご飯を炊いて新米を食べましょう



鍋炊飯のメリットは、「炊飯時間が短い」「節電」そして「美味しい」です。また、災害に備えて鍋でご飯を炊くスキルを持つておくのも大切なことだと思っています。

10月に、話題の塩麴を使ったお料理もメニューに入った鍋炊飯教室を実施しました。

10月3日(水)

※ 両教室 同日開催です。

### 西部ガス×エコけん らくらく鍋炊飯教室

ふくとびあ(福津市) 10:30~13:00 【参加費】300円 【託児】200円  
\*参加者には塩麴、西部ガス粗品をプレゼント

### ぐりんぐりん古賀 らくらく鍋炊飯教室

エコロの森(古賀市) 10:00~13:00 参加無料

エコけんでは「鍋炊飯教室」を出前授業いたします。お気軽にお問い合わせください。

《Yっち》

## ごみ減量・リサイクルポスターコンクール

福岡県の委託事業のひとつ「ごみ減量・リサイクルポスターコンクール」を9月10日(月)福岡県合同庁舎にて行いました。



エコけんにとって初めての事業で、子ども達の作品を見るのは楽しいものでした。審査委員として、古賀の空間デザイナーの坂崎さんにもお手伝いして頂きました。最後に、近年、美術の時間数の減少(週に1コマ)による「子ども達の美術離れ」があるのではないかと、という話題に触れ、美術が好きだった私は残念な気持ちになりました。

最終的に各部門4点ずつ、20点の入賞作品が決まりました。

今後、入賞作品は、順次展示していきます。ついでのある方は、ぜひご覧ください。

■ソラリアの地下通路(10/16~10/31)

■イオンモール福津イオンホール ■エコロの森展示室 ■県庁ロビー

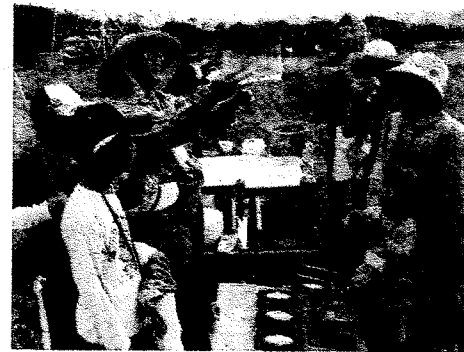
### 応募作品

【小学校低学年の部】 129枚 66校 【小学校高学年の部】 471枚 113校  
【中学生の部】 450枚 29校 【高校生の部】 68枚 4校  
全作品数:1,118枚 学校数:152校

《ひら》

～秋の野花と田んぼの生き物 9月15日開催～

台風の影響で、当日明け方まで天候が心配されましたが、開催中、なんと時には晴れ間すら見られ、網やバケツ片手に田んぼの生き物と触れあいました。



▲昔は、もっといたんだよ。

この講座の運営をされたのは、古賀市ほたるの会の皆さんです。田んぼはお米を作るところですが、そこには多様な生き物の生きる場所でもあります。当日は、わずか30分の間に、31種類の動植物が集められました。講師の中屋さんは、それらひとつひとつの名前をあげながら、「益虫、害虫、ただの虫がいます。ただの虫も大事な生き物です。」と穏やかに説明されました。



吹き渡る風は心なしかひんやりと心地よく、さやさやとなびく稲は「美しい」と思いました。特別何をしなくても、ただそこを歩くだけで心が休まります。小さな生き物、素朴な野花、やさしい人。この中に身を置くことそのことがぐりんぐりん体験でもあるのかもしれない。

さて、このあとも続々と講座が展開されます。皆さま、ぜひ一度はご参加ください。おススメです。

<<S>>



つれづれ草枕



天高く 人肥ゆる秋  
新米 梨 葡萄 栗 柿 りんご みかん  
さつまいも 小松菜 大根 きゃべつ  
サンマ 鯛 サケ 鯖 ...



美味しい秋の味覚！ に二重あご！！ と三段腹！！  
大丈夫ですか？ まあ いいか！

<<日女>>

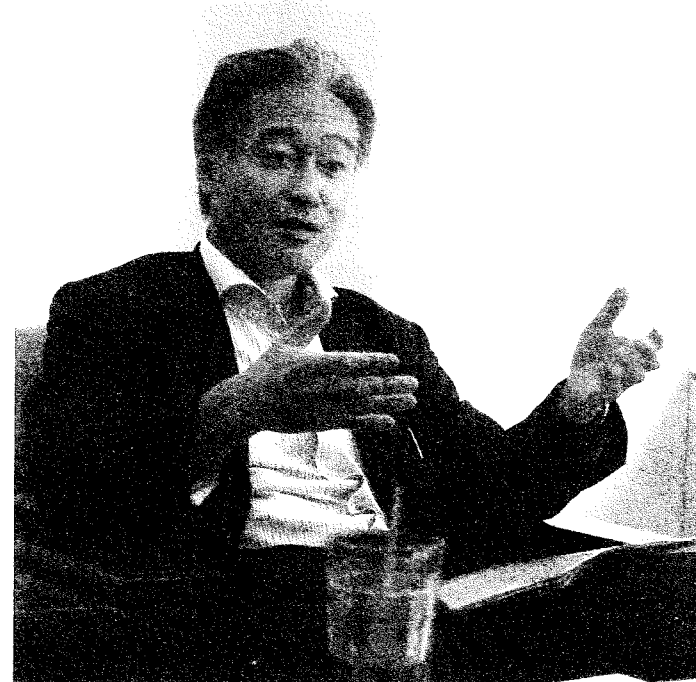


未来を創るインタビュー

No.16 西部ガス(株) エネルギー統轄本部 お客様・市場開発本部

お客様部部長 川島 英広 氏

西部ガス(株)お客様部部長の川島英広さんに、お話を伺いました。お客様部は、実際にガス器具を使用している私たちや店舗などエンドユーザーさんとの接点となる部署だそうです。毎年秋に開催されるガス・スタイルや、その他土日も含めてイベントなどの企画もされ、「外へ出て行く事が自分には合っています。」と笑顔でお話してくださいました。



ご家庭では、大学生から小学生まで4人の子どもさんのお父さんでいらっしゃいます。お子さんには、自然とふれあう経験をたくさんさせる事を心がけておられ、お休みの日には山でのキャンプや農業体験、魚とりや昆虫採集などに出かけられるそうです。最近では、アウトドアを通して火の扱い方や暖かみを体感させていらっしゃるそうです。野外活動を通し、ここ何十年かの中に、自然豊かだった場所がどんどん開発されていくことを危惧されていました。

お話を伺って、15年ほど前、海と山に囲まれた古賀市に魅力を感じ住まいを決めた事や、外遊びをさせながら子育てをした事を思い出しました。

未来を創るメッセージ

自然に無理なくかしこく暮らす

生活に必要なエネルギーも人間形成も自然が授けてくれるものだというお気持ちが伝わりました。これから効率の良いエネルギーの使い方はとても重要で、適材適所のエネルギーをむりなく家庭の中でも選んでいけるような提案をされたいそうです。

とてもフランクに何でもお答えいただき、ガス器具の効率の良い使い方や、この夏の節電方法などをお聞きしてしまいました。気がついたら予定を大幅に超えるほど、楽しくインタビューさせていただきました。

<<Yっち>>

次回のエコけん1%クラブ



10月12日(金) 15:30~1時間程度 エコ口の森近隣 ごみ拾い



思いを形に

特定非営利活動法人 エコけん

〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13

【TEL/FAX】092-944-6450

【E-mail】eco\_ecoken@ybb.ne.jp

【#7%】http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken